

東日本大震災以降の節電効果について

本年3月11日に発生した『東日本大震災』以降、本学におきましても様々な節電対策を講じて参りました。

特に、7月1日～9月9日の間については、電気事業法第27条による電気の使用制限（昨年同時期の1時間あたりの最大使用電力から15%の削減）が発動されたことから、全学を挙げて節電に取り組み、8月の電力使用量は前年比31.3%の削減を達成することができました。

その結果、震災発生日の3月初日から9月末日までの総使用電力量は、前年同時期と比較して24.5%の削減となり、大幅な節電効果が得られた結果となりました。

先日、今冬の東北電力管内の需給見通しが発表されましたが、他社からの融通を受けない場合、最大電力が供給力を上回る厳しい需給状況となることが見込まれておりますことから、本学といたしましても、引き続き節電に努めて参ります。

○これまで実施した主な節電対策

- ・教室等の蛍光灯の間引き
- ・図書館及び情報実習室の一部閉鎖及び開放時間の短縮
- ・食堂の閉鎖（震災～春学期授業開始前及び夏期休業期間）
- ・冷房を28℃に設定及び30分毎の間引き運転
- ・エレベータの一部運転停止
- ・体育館及びグラウンドの照明の使用制限
- ・トイレ等の照明スイッチに節電励行のステッカー貼付 など

○使用電力量の比較

月	平成22年度	平成23年度	対前年比
3月	279,060 kWh	217,360 kWh	77.9 %
4月	212,840 kWh	158,450 kWh	74.4 %
5月	171,580 kWh	160,160 kWh	93.3 %
6月	192,770 kWh	151,750 kWh	78.7 %
7月	256,560 kWh	178,130 kWh	69.4 %
8月	240,170 kWh	164,990 kWh	68.7 %
9月	204,550 kWh	145,210 kWh	71.0 %
計	1,557,530 kWh	1,176,050 kWh	75.5 %

節電啓発期間実施中！

**青森公立大学は引き続き
節電に取り組んでまいります。**



青森公立大学 事務局